
電話

凪竜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電話

【Zマーク】

Z0969F

【作者名】

凧竜

【あらすじ】

澄子は息子の誕生日に夫が帰つてこれない現状を嘆いていた

(前書き)

正直、後で読み返すとつまらないなあ。

プルルルルル

「あ、俺だけども、今日もサービス残業で遅くなるから先に食べといて」

「あなた！」

今日は哲生の誕生日なのよー。」

子供の誕生日の日へらい残業へらい断つなさいよー。」

「い」めんー澄子」

「あなた最近仕事ばっかりで帰つて來るのも何時も〇時過ぎじゃない！」

家庭を何だと思つてゐるのよー。」

「ホントにラーメン。

でも工場長が定時で帰つたからその分の仕事まで済ませないとけないんだ！」

取引先からの無茶な発注もまだ

「

「もうあなたなんて知らない！」

そんなに言い訳してまで仕事したいなら私と子供を捨てて仕事と結婚しなさいよー。」

私もう知らないからー。」

ガチャーン！

ツー・ツー・ツー

「バカ、

この前の結婚記念日にも約束してくれた癖に仕事だったじゃない！」

…

澄子は辛い言葉を放つたまま電話を切った事を後悔していた

今日こそは早く帰つてきてくれるに信じ、夫が昔に買つてくれた高額なワンピースまでタンスから出した

最近はやらない化粧も念入りにやつた

苦手な料理も結婚する前の夫に教わつたことを楽しくも懐かしい思い出しながら無茶して「」飯を作つた

ケーキもレシピを見ながら形は悪いながらもおいしいものが焼けた

全て夫と子供を喜ばせる為だつた

澄子は自分の努力が徒労に終わつた事よりも、久しぶりに家族揃つて我が子の誕生日が祝えない事を嘆き、うなだれた

「おかあさん。どうしたの？」

いつの間にか近くに寄つていた哲生を抱き締め澄子は涙を流した

ジリリリリリリリ
カシャン

「あ、はい。
もしもし、キムちゃん
え、何？
少し金と食糧の援助をくれつて？

あ、ゴメンそれちょっと無……

え、援助やんないとテポドン落とすつて？

やだなあ、[冗談だよ
え、何？

今度はアメリカに口添えしてテ口指定を解除せん？

いやあ、、それは流石に無……解つた！解つた！

だからテポドンだけは勘弁してよキムちゃん

ホラ、昔からの仲だろ？

いいつて、いいつてマジ氣にすんなつて！

困つた事があれば何でも言つてよキムちゃん
んじや会議あるからそろそろ切るね。」

ガチャン！

「キムちゃん……

今度援助したらもつ齧さないつて約束してくれたのに、、、、」

首相はあんな約束をしたことを後悔していた

北〇鮮が世界平和に共感してくれると信じ、持病の痔が悪化する思
いで十億円の援助金を送つた

最近はやらない根回しも念入りに行つた

苦手な接待も前の首相が行つた事を参考に、プライドをかみ殺しつ
つ行つた

会談も相手を起じらせないよう、慎重に言葉を選んだ

全て世界平和の為だつた

首相は自分の苦労が徒労に終わった事よりも、ストレスで久しぶり
に血便が出たことを嘆き、うなだれた

「首相。どうしたのですか？」

いつの間にか部屋に入ってきた秘書とは田を合わせずに自分の尻を抑え、首相は涙を流した

〔完〕

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0969f/>

電話

2010年12月26日05時35分発行